

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 福祉総合評価機構

②事業者情報

名称：アスク志木駅前保育園	種別：保育所
代表者氏名：荒井 孝子	定員(利用人数)：30 名
所在地：〒353-0004 埼玉県志木市本町5-20-15 フォーシーズンズ2002細田	TEL 048-476-6314

③評価実施期間

平成29年9月1日（契約日） ～ 平成30年3月31日（評価結果確定日）

④総評

◇特に評価の高い点

2歳児までの小規模園としての特性や期待される機能を踏まえ、一人ひとりの発達や特性に即した細やかな支援に取り組んでいる

全園児に個人別の指導計画を作成し、それぞれの子どもの月のねらいを定め、発達援助を行うとともに、全体・クラスの各会議や日々の中（昼）礼によって子どもの状況などを組織内で共有し、園全体で一人ひとりの育ちを支えられるようにしている。また園目標を「身近な自然や、身近な人たちとのあたたかい関わりの中で、豊かな心を育てる」とし、乳児へのスキンシップや応答的な関わりを土台とした愛着形成や、子どもの意欲を尊重しながら行う着脱・排せつなどの生活習慣獲得など、保育における養護面の充実を基本としつつ、活発に行う日々の散歩や室内での運動遊びなど、基礎体力の増進にも力を入れるなど、2歳児までの小規模園としての特性や期待される機能を踏まえ、一人ひとりの発達や特性に即した細やかな支援に取り組んでいる。

保護者との緊密な連携を図り、子どもを中心に置いた共助の関係のもとで一人ひとりの育ちを支えるべく努めている

お迎えの際にはなるべく各保護者と職員が言葉を交わすよう努めるほか、全世帯と毎日連絡帳をやり取りし、子ども一人ひとりのその日の様子や成長のエピソードを家庭と園とで共有するなど、小規模園の顔の見える関係と確かな信頼のもとで子どもの育ちを見守れるよう配慮している。クラス別の懇談会や今年度は運動会のゼッケン作りなどを職員と保護者で行った運営委員会、夏祭りや親子遠足・祖父母参観など、園と保護者の交流や保護者同士・家庭同士の親睦を深める行事もさまざまに設けており、保育参加の機会には保護者が職員とともに子どもたちと関わり、活動をともにすることで、園の保育や子どもの育ちへの理解もより深まるようにするなど、保護者との緊密な連携や共通理解形成を図り、共助の関係のもとで子どもの成長を支えられる関係の維持向上に努めている。

さまざまな保育の取組によって子どもたちの心身を豊かに育み、幼児期の発達段階の支援へとつなげている

1・2歳児には外部スタッフによる英語・体操・リトミックの各プログラムが毎週設けられ、歌やゲームなどを通じて英語に親しみ、体力や運動能力、音感やリズム感などを養うとともに、各年齢で制作活動に注力し、発達に応じ、季節や行事にちなんだイメージや思い出をさまざまな素材や手法によって表現している。また好天の日には積極的に散歩に出かけ、外気に触れながら季節を感じたり、身体を動かしたりするとともに、地域の夏祭りに参加して子どもたちが山車を曳（ひ）いたり、敬老の日には近隣のデイサービス施設を訪れて作品をプレゼントし、ハロウィンの際には仮装をして園周辺を巡るなど、地域との関わりも持たれている。また異年齢の交流が生活や遊びの中で営まれるほか、近隣の畑での栽培活動や毎月の調理体験など、2歳児を中心に食育の取組も展開されるなど、3歳児以降の幼児期の発達援助の基礎となるさまざまな実践がなされている。

## 福祉サービス第三者評価結果

### ④総評

#### ◇特にコメントを要する点

園舎の構造や園児の年齢構成も踏まえながら、子どもたちがより主体的に物事にに関わり、遊び込める環境構成の充実に取り組みたいと考えている

各室とも時間帯や活動内容に応じ、テーブル・椅子の出し入れや可動式のパーティション、バスマット製の手作りの仕切りなどで大小のスペースを設けたり、マットを敷くなどして遊びのコーナーを設定するほか、0・2歳児各室には畳を設置するなど、子どもたちが意欲的に遊び込める空間の確保に努めている。絵本・玩具等は職員が子どもの求めに応じて棚や収納庫から出して提供する形を基本としているが、子どもが自ら選び、手に取って意欲的に遊び込める環境構成の充実に課題と考えている。面積上の制約のほか、低年齢児が中心で室内の環境美化も重視する方針との兼ね合いなど、検討すべき点もある中で、子どもたちの主体性の喚起と整理整頓の意識をともに促す援助技術の向上を含め、今後さらに研鑽を図りたいと考えている。

法人組織と園長が協働して機能するために、事業計画に係る諸計画の共有化が望まれる

保育所にはその事業特性から社会に対する公益的な責任があり、安定的かつ継続性のある運営が求められている。また法人や園が目指すことの実現には単年度で可能なことと複数年度を要するものがあり、複数年度を要する計画実現のためには中・長期計画を策定して定期的に進捗状況を確認する作業が不可欠となる。内容的には提供する福祉サービスの内容のみならず、組織体制や設備・職員体制・人材育成・地域との関わり・収支計画など多岐にわたる。これらの事項への取組の現状は、法人の専権事項に係る事項は法人内の複数の部署が個々に計画を策定し、園では主として保育サービスに係る事項の計画を策定する形になっており、園では園全体の諸計画が俯瞰できない。諸々の計画は園経営に一体的に作用することが望ましく、法人組織と園長が協働して諸計画の達成に向けて機能するための共有化が望まれる。

職位・経験年数別の能力指標のさらなる活用や、多様に設けられる各種社内研修への参加促進を図るための取組を期待したい

法人が保育・安全など各分野に関する職位・経験年数別の能力指標「保育士人材育成ビジョン」を制定しており、これを個別の成長課題の設定や研修派遣計画の作成などにおける基準とすることとなっている。当園においては同ビジョンの職員への周知や職員の能力開発時の活用さらなる取組の余地が見られており、今後の検討を期待したい。また法人が常勤者必修の階層別研修と、非常勤者も含め希望に応じ受講可能な自由選択研修をそれぞれ多様なテーマで整備しているが、その他の社外の研修を含め、当園においては人的体制等の制約から必ずしも計画・予定通りの研修参加を行えていない面もあり、課題となっている。法人とも連携し、職員の積極的な研修参加と能力向上をさらに促進する体制の確立が期待される。

### ⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今年度の第三者評価を受け職員一人一人が見直し、気を引き締める良い機会になりました。アンケートの結果が出た事で保護者の方々の不安、心配点、改善点などが見えて良かったと思います、また満足して頂くためには、何を求めているのかを明確にしていきたいと感じました。今後の課題として役立てていきたいと思ひます。アスク志木駅前保育園は、2歳児までなので、もっと近隣の保育園との交流、地域との関わりを大切に取り組んで行き、職員全員が安全や子供の環境、様々なテーマの研修に行き学び合い、保育の向上を心がけて行きます。これからも職員全員で力を合わせて家庭的な環境で愛情あふれる保育、子ども達の笑顔があふれる保育を心がけてまいります。第三者評価にご協力いただいた評価機関の皆様、アンケートにご協力いただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。

### ⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり

#### ■判断基準について

判断基準の「a・b・c」は、評価項目に対する到達状態を示しています。

	判断基準の考え方
a	より良い福祉サービスの水準・状態 質の向上を目指す際に目安とする状態
b	aに至らない状況＝多くの施設・事業所の状態 「a」に向けた取組みの余地がある状態
c	b以上の取組となることを期待する状態

平成27年5月22日埼玉県福祉部社会福祉課長事務連絡  
「福祉サービス第三者評価における判断基準について」